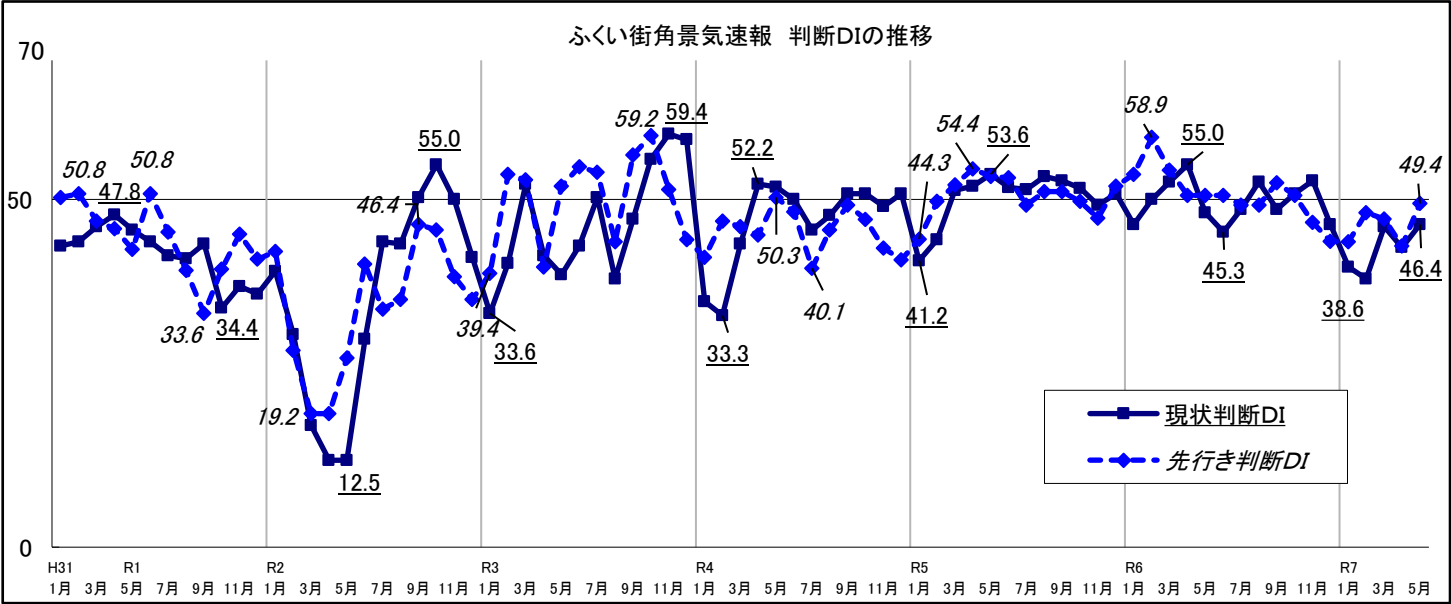


ふくい街角景気速報

(令和7年5月分)

調査期間 令和7年5月20日～27日 (回答率：90%)

概 況	
景気の現状判断DIは46.4となり、前月と比べ3.3ポイント上昇した。	
景気の先行き判断DIは49.4となり、前月と比べ6.1ポイント上昇した。	
■景気の現状判断DI	46.4 (前月比 +3.3)
○家計動向関連では、前月に比べ 4.3 ポイント上昇した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 2.9 ポイント上昇した。	
○雇用関連では、前月に比べ 2.3 ポイント上昇した。	
(意見の主な内容)	
○GW期間は周辺のイベントも多く、観光客も昨年に近い状態で増加していた。GW明けは少し人流が止まったが、月末に向けて回復している。(観光関係)	
○春先に上向きになった感触があったが、トランプ関税の影響で不透明感が増した。(建設・不動産関連)	
○生活必需品である米の価格が高止まりしており、それに伴う節約志向から嗜好品の購入が減っている。(スーパー)	
■景気の先行き判断DI	49.4 (前月比 +6.1)
○家計動向関連では、前月に比べ 5.7 ポイント上昇した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 5.3 ポイント上昇した。	
○雇用関連では、前月に比べ 11.3 ポイント上昇した。	
(意見の主な内容)	
○為替変動や関税の動向が定まるまでは先行き不透明。物価高も落ち着かないので、消費意欲が沸かない。(百貨店、SC等)	
○ビジネスの季節性で、例年、受注・売上が増加する時期に入っていく一方で、米国の大統領の動きが、世界情勢や景気に不透明感を与えることを懸念している。(電気機械関連)	



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断D I	2 P
2. 景気の先行き判断D I	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1)調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数					
地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2)調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3)調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

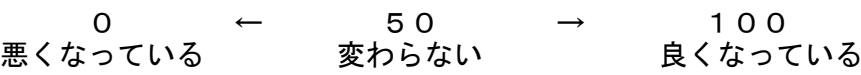
3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。



1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	12	R7 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		46.4	40.3	38.6	46.1	43.1	46.4	+3.3
家計動向関連		46.1	35.9	33.3	46.7	38.3	42.6	+4.3
小売		43.1	39.2	35.3	45.8	38.4	40.0	+1.6
飲食		50.0	35.0	25.0	65.0	25.0	45.8	+20.8
サービス		52.3	27.3	32.5	40.9	43.8	47.7	+3.9
企業動向関連		45.6	43.8	42.4	43.9	47.1	50.0	+2.9
製造業		46.9	43.5	40.2	41.3	44.8	47.9	+3.1
非製造業		42.5	44.4	47.5	50.0	52.5	56.3	+3.8
雇用関連		50.0	47.9	47.9	50.0	50.0	52.3	+2.3

○回答別構成比

	年 月	12	R7 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		15.4%	5.6%	6.7%	14.4%	14.4%	21.1%	+6.7
変わらない		54.9%	53.3%	48.9%	55.6%	47.8%	43.3%	▲4.5
やや悪くなっている		25.3%	33.3%	32.2%	21.1%	28.9%	31.1%	+2.2
悪くなっている		3.3%	6.7%	11.1%	6.7%	7.8%	3.3%	▲4.5

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	12	R7 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		44.0	43.9	48.1	47.2	43.3	49.4	+6.1
家計動向関連		42.8	45.1	47.2	45.7	40.6	46.3	+5.7
小売		43.1	44.2	46.6	44.2	41.1	44.2	+3.1
飲食		35.0	45.0	50.0	60.0	40.0	41.7	+1.7
サービス		45.5	47.7	47.5	43.2	39.6	54.5	+14.9
企業動向関連		43.4	39.8	47.0	47.7	46.3	51.6	+5.3
製造業		41.7	39.1	45.7	44.6	44.8	51.0	+6.2
非製造業		47.5	41.7	50.0	55.0	50.0	53.1	+3.1
雇用関連		50.0	50.0	54.2	52.3	45.5	56.8	+11.3

○回答別構成比

	年 月	12	R7 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなる		1.1%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	2.2%	+1.1
やや良くなる		13.2%	8.9%	17.8%	24.4%	16.7%	20.0%	+3.3
変わらない		51.6%	56.7%	54.4%	45.6%	43.3%	53.3%	+10.0
やや悪くなる		28.6%	26.7%	21.1%	20.0%	32.2%	22.2%	▲10.0
悪くなる		5.5%	5.6%	4.4%	8.9%	6.7%	2.2%	▲4.5

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	ようやく気温も上がり、外出される方、旅行が増えた。お祭りの需要有り。総会シーズンで懇親会も増えている。
		福井	コンビニエンスストア	客単価が前年より3～5%上昇した。そのまま売上が好調。
		福井	観光関係	GW期間は周辺のイベントも多く、観光客も昨年に近い状態で増加していた。GW明けは少し人流が止まったが、月末に向けて回復している。
	企業動向	丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性に加え、米国関税政策の影響で前倒しの取込と思われる受注が発生している。
		福井	商社	新しい政府からの補助金で燃料価格が下がった。
	雇用	福井	就職情報誌	少しずつ出稿が増えてきている。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	インテリア雑貨では、健康志向といったキーワード商品、マットレス・リカバリーウェアなどが動き出す。気温が少し高くなったことで、消費喚起があったためと思われる。ただ、必要なものだけを買う志向は変わらない。
		嶺南	スーパー	コロナも落ち着き、客数も安定してきているが、米の高騰や野菜の高騰などにより買い控えもあるように感じる。
		奥越	観光物産関係	原材料が6月から値上がりする品物が多いが、それを売価に転嫁できない。
		奥越	飲食関連	中京方面への通行止めがある。
		福井	サービス業関連	トランプ政権の関税問題や、コメ価格高騰などで、日々の生活に不安が起きているが、自動車業界においては現時点影響がなく、景気も変わらないと感じている。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内外ともに先の不透明感等もあり市況に変化が見られない。
		福井	一般機械関連	業界の景気は底打ちしたと発表しているが、国内メーカーの設備投資意欲は、まだ目に見える印象は薄い。
		丹南	電気機械関連	先行きの不安は続いているが、極端な円安が改善の兆しを見せており、良い影響となる可能性があるが、現時点では変化は少ないと思われる。
		福井	銀行等金融関連	引き続き、対面型サービスを中心に回復への動きがみられる。一方で、物価高の影響で小売業やサービス業など個人消費の伸び悩みなどが足かせになっている。
		福井	建設・不動産関連	春先に上向きになった感触があったが、トランプ関税の影響で不透明感が増した。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	企業訪問による聞き取りでは、多くの企業から物価高・金利高の影響もあり厳しいとの声を聞く。また、域内の有効求人倍率も、対前年同月比で若干下がってきていることから、注視していく必要がある。
		嶺南	労働相談員	労働相談の件数や内容から判断すると、内容や件数に目立った変化はないことから、景気は変化しないと考える。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	商店街	新幹線開業1周年がひと段落したのと、ゴールデンウィークが終わったため。
		嶺南	一般小売店	お米など食品の物価が高くなり消費に慎重になっている。
		福井	百貨店、SC等	客数の減。昨年は新幹線開業効果で駅前に人が来ていた。継続して生鮮・惣菜が厳しいところをみると、物価高騰で特に惣菜は慎重に選んでいると思われる。
		福井	スーパー	ドラッグストアの出店などにより、食品菓子や日用品の利用が減っている。
		坂井	スーパー	生活必需品である米の価格が高止まりしており、それに伴う節約志向から嗜好品の購入が減っている。
		嶺南	観光関係	2月の海鮮料理が個人客を呼び込む季節と違って、春は団体が動かないと厳しい。長期的傾向として国内の団体自体が減少しているので、季節的には苦しい時期。
	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	客先の関税を意識した発注延期などの影響が懸念される。
		福井	銀行等金融関連	企業側は原材料価格の高止まりや人件費が重荷になっており、個人消費は物価高騰で伸び悩んでいる。
⑤悪くなっている	雇用	丹南	労働相談員	お金に関する相談内容が増えている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	福井	鉄鋼関連	トランプ政権の落ち着きが少しでてきた。
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	スーパー	備蓄米の放出が進みそうであり、米の価格も落ち着いてくることから、嗜好品への支出も戻ってくると思われる。
		嶺南	コンビニエンスストア	これから夏場になり、この地域はジェットスキーや海水浴のお客様が来られるため、少しは景気がよくなるのではと思う。寒い冬よりも、気候が暖かくなってきた方が人は動きやすい。
		福井	サービス業関連	トランプ政権で車の輸出が低迷すると予測される一方で、日本においては輸出分が日本に流れる可能性があると思込んどおり、多少ではあるが、景気がよくなると思う。
	企業 動向	福井	一般機械関連	設備投資関連の助成金等が今期も継続されたので、今後その効果が出てくると予想する。
		丹南	建設・不動産関連	大型物件(非住宅)の受注が増えてきている。
	雇用	嶺南	労働相談員	現在の労働相談件数は少しずつ減少傾向にあることから、2～3か月後の景気は少し回復するのではないかと判断する。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、SC等	為替変動や関税の動向が定まるまでは先行き不透明。物価高も落ち着かないので、消費意欲が沸かない。
		福井	コンビニエンスストア	4月以降、現状の物価高を消費者が受け入れた感がある。
		坂井	観光物産関係	3か月先は繁忙期になるので期待をしている。
		奥越	飲食関連	通行止めの解除までは変わらないと思う。
		福井	サービス業関連	売り上げは前年並みだが、コストアップが心配。
	企業 動向	坂井	繊維関連	直接的な影響はないものの、アメリカでの関税の問題等もあり、今後の先行き等に関しては引き続き不透明感が残る。
		福井	一般機械関連	輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少が続いている。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性で、例年、受注・売上が増加する時期に入っていく一方で、米国の大統領の動きが、世界情勢や景気に不透明感を与えることを懸念している。
		丹南	電気機械関連	先行きの不安は続いているが、トランプ大統領の関税政策が軟化する兆しがあり、弊社の業績への影響も思ったほどの影響が出ない可能性が出てきた。
		福井	商社	夏の賞与もそれなりに出す予定のためと人員不足のため。
		嶺南	その他製造関連	嶺北、嶺南問わず県内での仕事が少ない。
		福井	銀行等金融関連	円安や物価高に伴う仕入れ単価上昇の再加速や、人手不足・人件費上昇など利益圧迫が続くとみられる。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	トランプ関税の影響を受ける企業とそうでない企業があり、先行き不透明。今後の世界情勢を注視している。
		福井	ジョブカフェ担当者	新幹線開業から1年が経過したが、雇用面で景況感に大きな変動は見られない。福井労働局の調査によると、県内ハローワークの紹介で就職決定したうち、正社員での決定割合が例年は40%程度あったが、令和7年は38%に減少した。今後の動向を注視していきたい。
④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	一般小売店	物価高に加え、今後の関税問題など先行きが不透明なため。
		福井	百貨店、SC等	米などの食の高騰で、生活必需品でもやや低迷。衣料や雑貨(装身具など)は優先度が低いため、当面低空飛行するとみる。高単価商品の低迷が当面続くとみられ、物価高騰が落ち着くまで我慢の営業と予測する。
		福井	百貨店、SC等	日常の買い物は価格をシビアにみる傾向は変わらない。2000円台の備蓄米を出すと言っているが、通常のコメが安くならないことには変化はないと感じる。
		嶺南	飲食関連	今年も猛暑となるなら、野菜不足はまだ続くので、色々な業種に影響が広がると思う。ガソリン燃料の価格値上がりは収まったようだが、いつまで続くのかわからない。
	企業 動向	福井	繊維関連	客先の情報と業界の動きが悪い。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	全体的には人材不足・物価高等により投資を控える動きがある。また、トランプ関税に関して、域内には車やスマホなど輸出品関連企業もあり、間接的に影響が出る恐れがある。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、
悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、
今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)